

# ぎんれい句会

平成二十九年六月

小満や目当てのページすぐ開き

主宰 細野恵久 福祉三期

長廊を渡る釜鳴り七変化

増田和子 食文一期

老鴛と巡り語らふ山と溪

改正節夫 国際三期

褒められしバラに園丁多弁なり

藤井秀重 生環四

もうすぐに平均寿命夕河鹿

三枝邦光 美工五期

親子猿さけて速足登山靴

國永靖子 音文六期

万緑や億の年月丹波竜

猿橋二三雄 福祉八期

柝(き)が入り固唾のみこむ夏芝居

加藤善巳 美工八期

青田風向う三軒姉ひとり

太田 實 国際十期

離陸機の影写りゆく植田かな

今崎良平 音文十四期

キッチンにきみのハミング夏の朝

大下絹子 国際十五期

毎朝の芽掻き忙しトマトかな

中村建生 国際十五期

スキップの小学生やサンダラス

藤本武子 国際十五期

夏兆す後歩きの町ガイド

山下 進 国際十五期

新緑や歓声上がる鳩御簀

許斐國照 食文十五期

天上へ泰山木の花ひらく

小淵政子 健福十六期

初夏の森うねうね下る瀬音連れ

水島麗子 国際十六期

掛保川いぼがわの五月の鯉は谷低く

兼清久子 健福十七期

明早し湖畔のあさひ皿に盛る

宮本公子 健福十七期

妣の丈小千谷縮は妹の丈

沖本无辺子 国際十七期

木洩れ日のどくだみ覆う式部の碑

香春早苗 国際十七期

八橋を行ては戻り花菖蒲

仲田愼輔 国際十七期

梅雨の月笑顔で泣く夜雨となる

中村富美子 国際十七期

宣教師帰国を惜しむ夏座敷

宮本眞貴子 国際十七期

更衣思い出広げまた畳む

小栗恭子 健福十八期

室の津の遊女の墓の緋の牡丹

潮江敏弘 健福十八期

秦然と路傍の草食む蝸牛

野見山剛 健福十八期

テトロンのシャツの記憶や更衣

大山吉春 国際十八期

天からの恋の文めく揚羽蝶

今井義和 美工二十期

白南風や紀伊水道を渡り来ぬ

尾崎育久 美工二十一期

汗しぶき波打つ肉の国技館

黒木早苗 食文二十一期

天守閣見ぬ一生やあめんぼう

谷口裕 国際二十一期

一人居の窓這う守宮親子連れ

宮脇暁美 食文二十一期

晩春や埃まみれのスカート

武藤龍雄 国際二十一期

第二百三十八回ぎんれい句会（六月九日開催）より